

## 水を大切に使うていくには

私たちは毎日かさず水を使っています。生活をしていると、飲み水や、洗濯水など、さまざまな場面で水を使っています。このよくな生活用水はどのようにできているのか調べてみました。

私たちが毎日使っている水の主な源は川の水で、空から降った雨水が川になっています。海や陸の水が蒸発散し、大気中にできた雨雲で雨を降らせています。そこから、雨が地上に降り、植物などに吸い上げられて、葉などから大気中に蒸散して雲になりまた雨を降らせているのです。

でも、その水は人間の体に有害な物質やウイルスなどの菌が含まれています。有害な菌を取り除くために様々な取組が行われています。

まず、川の水はいつでも供給できるよう、

山添村立山添中学校 二年

今本 紗里依

ダムに貯められます。ダムは、大雨のときには洪水を防ぎ、渇水するときにも水を使えるように、水の量を調節しています。次に水は、取水場へ行きます。取水場では川やダムの水を取り入れて、浄水場へ送られます。その次に、水は水路へ行きます。水路では、取水した川やダムの水を別の川や浄水場などの、必要な場所へ送られます。その次に、浄水場に行きます。浄水場では、取水した原水に浄水処理を行い、安心して飲める安全でおいしい水道水を作ります。そして水は、配水場へ行き、そこできれいになった水道水をいったん貯めて、配水管を通って各家庭の蛇口につながらる給水管へ水道水を運ぶのです。このように、たくさんさんの取組が行われているから、蛇口をひねると安心、安全なおいしい水が出てくるのです。

私は、水がこんなにもたくさん場所を通って私の家庭にくることを知って、世界には安全で安心な水が飲めないところもあるから大切に水を使っていかなないとだめだと改めて思いました。そこで水資源を守っていくにはどのようなことができるのか考えてみました。水資源を守るために私たちにできることの一つ目は節水をすることです。たとえば、食器や食材を洗うときは、ため洗いをし、お風呂の残ったお湯は、庭の花の水やりなどに少しでも再利用する、お風呂でシャワーを使わないときは止めて、こまめに調節をする、洗濯をするときは、一日に何度も洗濯機を回すのではなく、洗濯物がたまったらところで、まとめて洗うなどのたくさん工夫ができません。

二つ目は、川を汚さないための生活排水対策です。たとえば、キッチンでは汚れのついた食器やフライパンなどは汚れを拭き落としから洗う、流しの三角コーナーや排水口では、水切りネットなどを使い調理くずや食べ残しを流さないようにする、米のとき汁は、庭の花の水やりに使い再利用し、排水口から

は流さないようにする、洗濯やお風呂場では洗剤はせっけんなどの分解性の高いものを適量使う、シャンプーやリンスはたくさん出さず、使いたすぎないようにする、お風呂の残り湯は洗濯やそうじに使うなど、節水と同じでたくさん工夫ができます。

このように私にできることがたくさんあります。少しの工夫をするだけで一日に何百リットルの節水ができたり、川を汚さないようにすると、川をきれいなまま保て、魚や鳥が住めるようになると思います。今からでもできる工夫があると思うので意識して生活していこうと思いました。